

大型バスの運賃表示用モニター取付け金具のリコールについて

平成 21年8月4日

リコール届出番号2360

平成21年8月4日、日産ディーゼル工業株式会社に車両を供給している三菱ふそうトラック・バス株式会社が下記のリコールを国土交通大臣に届け出しました。

対象車両をご愛用のお客様には、大変ご迷惑をおかけしまして誠に申し訳ございません。

ご愛用車の措置につきましては、販売会社よりご連絡・ご相談をさせていただきますので、点検・修理（無料）をお受けいただきますよう、よろしくごお願い申し上げます。

対象車両をご愛用のお客様には大変迷惑をおかけいたしましたことを、心よりお詫び申し上げます。

1. 不具合の状況

- 高速路線バスにおいて、運賃表示用モニターの取付け金具の強度が不足しているため、車両振動により当該金具に亀裂が発生するものがあります。そのため、そのままの状態で使用を続けると、亀裂の進行によって当該金具が破断して運賃表示用モニターが垂れ下がり、運転者の視界を妨げるおそれがあります。

2. 改善の内容

- 全車両、運賃表示用モニターの取付け金具一式を、対策品と交換します。

【改善箇所説明図】

3. 対象車両

- 三菱ふそうトラック・バス株式会社が製作し、日産ディーゼル工業株式会社が販売している大型バスが対象です。
- 型式、車台番号の範囲、製作期間、対象台数は次の通りです。

型式	対象車の含まれる車台番号の範囲 及び製作期間	対象台数
BKG-AS96JP	AS96JP-20019～AS96JP-20034 平成20年7月9日～平成20年10月27日	4
計1型式	製作期間の全体の範囲 平成20年7月9日～平成20年10月27日	合計4台

<ご注意>

- 対象車両の含まれる車台番号の範囲には、対象とならない車両もありますので、詳しくは最寄りのUDトラック販売会社にお問い合わせください。
- 対象車両の製作期間はご購入の時期とは異なります。